

埼玉県立浦和図書館資料展



「地域に根ざして生きる」

—地域おこし協力隊の活動—



県立浦和図書館では、「地域おこし協力隊」を紹介する資料展を開催します。

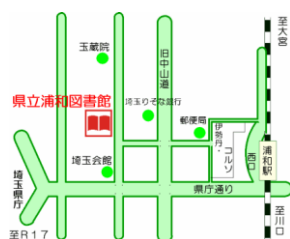
少子高齢化が話題になって久しい日本ですが、山村・離島などでは若者が去り、小学校が廃校となり、祭りが途絶え、集落の維持が困難になっている地域が多数あります。それは、将来の都市に重なる部分かもしれません。

「地域おこし協力隊」とは、都市住民が地方に移り住み、活動費の支給を受けながら、地域のニーズに合わせた地域活性化を目指す総務省の取り組みで、現在約 1,000 人の隊員が全国で活動しています。

今回の資料展では、日本各地で活躍する隊員の活動を紹介するとともに、「高齢化」「過疎化」「産業・仕事」「コミュニティ」「学校の統廃合」「山村・海浜留学」「Uターン・Iターン」などをキーワードに、県立図書館の資料展示を行います。県民の皆さんと一緒に考えるきっかけとしたいと考えています。

期間：平成 26 年 5 月 28 日 (水) ～平成 26 年 7 月 13 日 (日)

場所：埼玉県立浦和図書館 2階入口ロビー



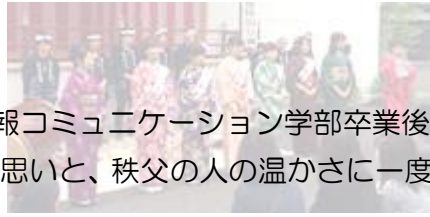
さいたま市浦和区高砂3-1-22

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>



地域おこし協力隊員紹介・・・資料展では、ほか6名の隊員を紹介しています。

秩父市 佐俣菜津子隊員

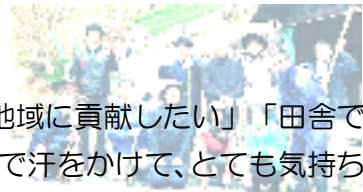


【プロフィール】 1990年東京都生まれ。2013年明治大学情報コミュニケーション学部卒業後、包装資材や販促物を扱う会社に勤務。地域に関わる仕事がしたいという思いと、秩父の人の温かさに一度触れた経験から地域おこし協力隊に応募。趣味は絵を描くこと、買い物。

【地域紹介】 秩父市は人口約65,000人、山に囲まれた盆地です。かつては養蚕業、織物業が盛んで経済的にも豊かな街でした。当時の面影を残す建物が多く保存され、お祭りが多くあることもあり、現在では観光地として知られています。日本三大曳山祭りである秩父夜祭と芝桜の時期には多くの観光客が訪れます。

【メッセージ】 今年は昨年の自分でも予想しなかった挑戦の年となりました。まだこちらに来てひと月ですが、多くの方の優しさに支えられて生活しています。昨年末伝統工芸品に指定された秩父銘仙、まだまだ認知度は低いですが、老若男女問わず親んでもらえる機会を増やしていきたいと思いをしています。

秩父市 吉本隆久隊員



【プロフィール】 1989年埼玉県川越市生まれ。大学卒業後、「地域に貢献したい」「田舎で暮らしたい」という思いで地域おこし協力隊になる。趣味は畑仕事！大自然の中で汗をかけて、とても気持ちがいいです。

【地域紹介】 深い渓谷にある秩父市大滝（旧大滝村）は四季を存分に楽しめる地域です。春は新緑、夏は清流、秋は紅葉、冬は氷柱…。夏は暑く、冬は寒いと言うと暮らしぶらく感じますが、それぞれの季節らしさを味わえることで、より充実した暮らしを送ることができます。

【メッセージ】 とても魅力的な地域ですが、仕事が無いので若者の流出が進んでいます。そのため現在は新たな仕事づくりに取り組んでいます。応援、よろしくお願いします！

愛媛県上島町 藤巻光加隊員

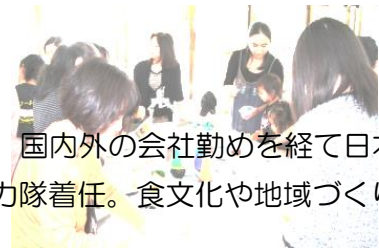


【プロフィール】 1983年山梨県生まれ。大学進学を機に上京し、マーケティング会社に勤務。2011年「暮らし」を大切にしたいと思い、瀬戸内海の離島に夫婦で1ターン。趣味は、野や海での食材探し！

【地域紹介】 上島町（かみじまちょう）は、6つの有人島と19の無人島でなる全国でも珍しい「離島が集まってできた町」です。人口約7,400人。レモンをはじめとした柑橘類の栽培と造船業が盛んです。

【メッセージ】 海の近くで暮らしてみたいという単純な動機ではじまった島暮らしですが、実際に暮らしてみると、東京で会社勤めをしていたときには知り得なかった感動や充実感を感じています。島の人、特に子どもたちや若い世代が、地域で楽しみ、誇りをもって暮らせるような場づくりに取り組んでいます。

沖縄県名護市 ^{つづくあや}都竹亜耶隊員



【プロフィール】 1978年東京都生まれ。浦和明の星高校卒業です。国内外の会社勤めを経て日本の伝統的な食文化の継承と創造を求め2010年長野県木曾町地域おこし協力隊着任。食文化や地域づくりの多様性を探求するため2013年11月より沖縄県名護市へ移住。

【地域紹介】 沖縄本島北部の中核都市名護市東海岸の久志地域は人口4,700人ほど。昔ながらの佇まいが残る13の集落からなり、海と山そしてマングローブが広がっています。かぼちゃ、うこん、サトウキビ栽培が盛んです。

【メッセージ】 名護市東海岸には古き良き沖縄の文化が残り、緩やかな時間が流れています。地域の人々の心豊かな暮らしが次の世代へと繋がる仕組みづくりのサポートをしています。